

1 農業信用保険勘定

(1) 農業保険業務

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金及び預金	16,679	リース債務(短期)	0
有価証券	6,391	引当金	
未収金	854	賞与引当金	28
その他の流動資産	75	政府事業交付金	8,185
流動資産合計	23,998	支払備金	632
		その他の流動負債	16
II 固定資産		流動負債合計	8,860
1 有形固定資産		II 固定負債	
建物	226	リース債務(長期)	0
減価償却累計額	△ 142	引当金	
減損損失累計額	△ 29	退職給付引当金	252
土地	663	責任準備金	2,123
その他の有形固定資産	85	固定負債合計	2,375
減価償却累計額	△ 19	負債合計	11,236
有形固定資産合計	785	(純資産の部)	
2 無形固定資産	134	I 資本金	
3 投資その他の資産		政府出資金	5,442
投資有価証券	35,598	民間出資金	20,239
その他の投資その他の資産	1	資本金合計	25,681
投資その他の資産合計	35,598	II 資本剰余金	
固定資産合計	36,517	政府交付金	3,288
		特別出えん金	19
		資本剰余金合計	3,307
		III 利益剰余金	
		前中期目標期間繰越積立金	9,774
		積立金	6,963
		当期末処分利益	3,555
		(うち当期総利益)	(3,555)
		利益剰余金合計	20,292
資産合計	60,515	純資産合計	49,280
		負債純資産合計	60,515

* 有形固定資産、無形固定資産は便宜上農業保険業務に一括計上

損益計算書

(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
経常費用		経常収益	
事業費		事業収入	
保険事業費		保険事業収入	
保険金	5,441	保険料収入	3,040
保険料払戻金	0	回収金収入	2,665
求償権管理回収助成	28	支払備金戻入	2,408
支払備金繰入	-	政府事業交付金収入	324
事業費合計	5,469	責任準備金戻入	778
一般管理費		事業収入合計	9,215
人件費	361	財務収益	
直接業務費	95	受取利息	0
管理業務費	52	有価証券利息	406
賞与引当金繰入	28	財務収益合計	407
退職給付引当金繰入	32	雑益	3
減価償却費	42		
一般管理費合計	609		
財務費用	0		
経常費用合計	6,078	経常収益合計	9,624
経常利益	3,547		
臨時損失		臨時利益	
固定資産除却損	1	前期損益修正益	9
臨時損失合計	1	臨時利益合計	9
当期純利益	3,555		
当期総利益	3,555		

1. 貸借対照表

(注) 貸借対照表及び損益計算書の説明における金額の次の()内は、27年度からの増減を示す(以下同じ)。

- 平成28年度末における資産総額は605億15百万円(7百万円増)である。主な内訳は、有価証券及び投資有価証券が419億89百万円(39億74百万円減)、現金及び預金が166億79百万円(38億71百万円増)である。
- 負債総額は112億36百万円(35億46百万円減)である。主な内訳は、政府事業交付金81億85百万円(3億14百万円減)、支払備金6億32百万円(24億8百万円減)、責任準備金21億23百万円(7億88百万円減)、退職給付引当金2億52百万円(15百万円減)である。
- 純資産総額は492億80百万円(35億55百万円増)である。主な内訳は、政府及び農業信用基金協会等からの出資金256億81百万円(増減なし)、政府交付金32億88百万円(増減なし)、利益剰余金202億92百万円(35億55百万円増)である。

2. 損益計算書

- 平成28年度の経常費用は60億78百万円(3億89百万円減)、経常収益は96億24百万円(3億83百万円増)で、これに臨時損失及び臨時利益を加味した結果、当期総利益は35億55百万円(利益の2億75百万円増)となった。
- この利益が増加となった主な要因は、
 - ① 保険金が54億41百万円(16億92百万円増)となったこと、
 - ② 保険料収入が30億40百万円(1億99百万円減)となったこと、
 - ③ 責任準備金の戻入額が7億78百万円(18億11百万円減)となったこと、
 - ④ 厚生年金基金の解散に伴う代行返上益(4億68百万円減)及び退職給付引当金戻入(1億63百万円減)の収入がなかったものの、
 一方で、
 - ⑤ 支払備金が前年度20億45百万円の繰入であったのに対し、今年度は24億8百万円の戻入となったこと、
 - ⑥ 退職給付会計基準改正に伴う調整額(99百万円減)の支出がなかったこと等による。

(2) 農業融資業務

貸借対照表
(平成29年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金及び預金	4	リース債務(短期)	0
有価証券	1,009	引当金	
未収収益	2	賞与引当金	4
短期貸付金	18,569	その他の流動負債	2
その他の流動資産	-	流動負債合計	6
流動資産合計	19,585	II 固定負債	
II 固定資産		リース債務(長期)	0
1 有形固定資産		引当金	
建物	-	退職給付引当金	33
減価償却累計額	-	固定負債合計	33
土地	-	負債合計	39
その他の有形固定資産	-	(純資産の部)	
減価償却累計額	-	I 資本金	
有形固定資産合計	-	政府出資金	29,584
2 無形固定資産	-	民間出資金	-
3 投資その他の資産		資本金合計	29,584
長期貸付金	18,474	II 資本剰余金	
その他の投資その他の資産	0	政府交付金	8,214
投資その他の資産合計	18,474	特別出えん金	-
固定資産合計	18,474	資本剰余金合計	8,214
資産合計	38,059	III 利益剰余金	
		前中期目標期間繰越積立金	246
		積立金	23
		当期未処理損失	47
		(うち当期総損失)	(47)
		利益剰余金合計	222
		純資産合計	38,020
		負債純資産合計	38,059

* 有形固定資産、無形固定資産は便宜上農業保険業務に一括計上

損益計算書
(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
経常費用		経常収益	
一般管理費		事業収入	
人件費	47	貸付事業収入	
直接業務費	4	貸付金利息	5
管理業務費	7	事業収入合計	5
賞与引当金繰入	4	財務収益	
退職給付引当金繰入	4	受取利息	0
減価償却費	5	有価証券利息	20
一般管理費合計	72	財務収益合計	20
財務費用	0	雑益	0
経常費用合計	72	経常収益合計	25
		経常損失	47
臨時損失			
固定資産除却損	0		
臨時損失合計	0		
		当期純損失	47
		当期総損失	47

1. 貸借対照表

- (1) 平成28年度末における資産総額は380億59百万円(37百万円減)である。主な内訳は農業信用基金協会に対する貸付金(短期及び長期)370億43百万円(1億91百万円増)、有価証券10億9百万円(2億26百万円減)、現金及び預金4百万円(1百万円減)である。
- (2) 負債総額は39百万円(9百万円増)である。主な内訳は、退職給付引当金33百万円(9百万円増)である。
- (3) 純資産総額は380億20百万円(47百万円減)である。主な内訳は政府出資金295億84百万円(増減なし)、政府交付金82億14百万円(増減なし)、利益剰余金2億22百万円(47百万円減)である。

2. 損益計算書

- (1) 平成28年度の経常費用は72百万円(19百万円増)、経常収益は25百万円(5百万円減)で、これに、臨時損失を加味した結果、当期総損失は47百万円となり、前年度の23百万円の利益から損失に転じた。
- (2) この利益から損失に転じた主な要因は、
- ① 退職給付会計基準改正に伴う調整額(9百万円減)がなかったものの、一方で、
 - ② 金利の低下により有価証券利息が20百万円(4百万円減)となったこと、
 - ③ 一般管理費合計が72百万円(19百万円増)となったこと、
 - ④ 厚生年金基金の解散に伴う代行返上益(42百万円減)及び退職給付引当金戻入(15百万円減)の収入がなかったこと
- 等による。